



2017-18年度
国際ロータリー会長
イアン・ライズリー

Weekly Report Niigata



2017～18年度
新潟ロータリークラブ会長
徳永 昭輝

ロータリー：
変化をもたらす

国際ロータリー
2017-18年度テーマ

新潟 RC 11月第 2 例会 (2017.11.14) No.3207

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 徳永 昭輝会長挨拶

皆さん、こんにちは。今日はゲストスピーカーとして、新潟日報社の論説編集委員室次長の太塚清一郎さんをお迎えしています。後程ご紹介をさせていただきます。先週は、新保ガバナーの公式訪問があり、またクラブ協議会が開催されました。新潟RCの現状、活動状況について報告し、評価をして頂きました。新保ガバナーのテーマは、R I イアンH. S. ライズリー会長の「ロータリー：変化をもたらす」のテーマを受けて、「クラブと地区の変革をめざそう ; Making A Difference in My Club and Our District」を掲げ、ロータリーは世界規模で活動する奉仕団体となりましたが、R I は、ロータリーが時代に追いついていないと危機感を募らせている。新保年度は、時代に追いつくべくクラブと地区の変革に取り組んでいます。クラブ協議会では、各委員会の奉仕活動を報告して頂き、新保ガバナーから評価、ご指導を頂きました。関係各位のご協力に感謝申し上げます。また、新保ガバナーは、平成29年4月27日に実施した会員満足度アンケートの結果を示し、2017-18年度のテーマに沿った活躍を期待したいとの指導を頂きました。今日は、新潟RCクラブのアンケート結果について提示し、皆さんと一緒に2017-18年度の取り組みの成功への踏み台にしたいと思います。

新潟RC満足度アンケート調査結果

(平成29年4月27日；会員95名、回答者34人、回答率35.8%)

- クラブ会員であることにどのくらい満足しているか。
満足している 71.4% ある程度満足している 28.6%
- クラブ会員・例会・雰囲気について
 - 寄付・募金活動の量 79.4%
 - 活動参加への呼びかけ 79.4%
 - 地元地域の職業、人口構成を反映している 72.7%
 - 会員はお互いへの思いやりを持っている 100%
 - 新会員がすぐ打ち解けられる配慮 85.3%
 - 例会は時間を費やす価値がある 88.2%
- 例会について
 - 講演者とプログラム 85.3%

- 食事や飲み物 90.9%
- 例会日と時間、場所 100%
- 主題の多様性 94.0%
- 職業のネットワークづくり・交流に充てる時間 100%
- 長さ 93.9%
- 国際ロータリー最新情報の紹介 96.4%
- 4. クラブ奉仕のプロジェクトについて
 - 奉仕プロジェクトの参加意義がある 85.3%
 - 奉仕プロジェクトを通して世界・地域社会に貢献している 85.3%
 - よく運営されている 94.1%
 - 奉仕プロジェクトの数 81.8%
 - 社会奉仕プロジェクトの数 84.8%
 - 国際奉仕プロジェクトの数 87.9%
- 5. クラブのコミュニケーションと対応
 - 会員に十分な連絡が行われている 100%
 - 会員の声に十分耳を傾けている 94.1%
 - 意見・アイデアを積極的に募っている 67.6%
 - 意見や・アイデアに基づいて運営されている 67.7%
 - クラブの変化のスピードは適切と思う 70.6%
 - 会員のニーズに合わせて手続き・規定を更新 85.3%
- 6. 会員であることの価値について
 - 私はクラブに歓迎されていると思う 73.6%
 - クラブを通じて貴重な人脈作りが出来る 100%
 - 私の才能・スキルを活かす機会がある 62.9%
 - 会員としての経験は会費を払う価値がある 81.8%
 - 会員としての経験は時間を費やす価値がある 85.7%
 - ロータリー会員であることの価値を
 - 家族が認めている 79.4%
 - 友達が認めている 72.2%

- ・ロータリーを通じて地域のための貢献できる 81.8%
- 世界のために貢献できる 64.7%

7. クラブへの参加

- ・クラブの行事に家族、友人、同僚をよく誘う 50%
- ・資格ある候補者に入会を誘っている 45.5%
- ・クラブ活動・プログラムに頻繁に参加 63.7%
- ・クラブを誇りに思う 87.9%

8. 会員が払う会費について

- ・クラブ会費 100%
- ・例会の会費 876%
- ・ニコニコ/ごめんなさいボックス 93.8%
- ・クラブ賦課金/特別会費 86.7%
- ・奉仕活動に求められる募金 87.6%
- ・ロータリー財団の為に求められる寄付 84.4%

全員参加で、

例会を楽しくしよう！行事に参加しましょう！

アイデアを出し合って、行動しよう！

Keep on Going!

(3) 100%バッチの贈呈

小林 敬直君 26年

(4) 3分間スピーチ

- ・(株)第四銀行常務取締役本店営業部長 大沼 公成君



- ・新潟運輸(株)取締役社長室長 織戸 潔君



- ・丸運建設(株)代表取締役社長 小田 等君



- (5) ロータリーの友11月号紹介（坂本信広報会報雑誌委員）

- (6) 宇尾野直前会長よりヤンゴンRC訪問報告

- (7) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(得永 哲史委員長)

岡村 健吉君 新田 幸壽君

柴田 史郎君

米山奨学会寄付発表(池上 茂樹委員)

池上 茂樹君

青少年育成基金寄付発表(小田 等委員長)

樋熊 紀雄君 本間 剛三君

小田 等君

- (8) ニコニコボックス紹介（八島 進副委員長）

・小松 茂樹君 一昨日から昨日にかけて和倉温泉加賀屋にお客様との旅行に行ってきました。宿泊が「浜離客」という最上級のお部屋で、とても豪華な一夜でした。

・竹石 松次君 明日夜8時から10時までBSN特別番組ドナルド・キーン95歳心の旅が放送されます。是非、ご覧下さい。

・新田 幸壽君 誕生祝ワインありがとうございました。

・坂井 賢一君 職業奉仕委員会第1回出前授業を11月9日(木)青陵大学福祉心理学部3年の学生83名を対象に行いました。講師は日本銀行新潟支店長 武田直己さんをお願いしました。当日は夕方の授業にもかかわらず皆さん真剣に聴いていました。武田支店長有難うございました。今日は青陵大学短期学部で第2回目の出前授業をやりませう。

- (9) 幹事報告（織戸 潔幹事）

・例会終了 プログラム委員会を4階「雪の間」で開催致します。

- (10) 卓話「新潟が主役！映画『ミッドナイト・バス』制作の舞台裏」

新潟日報社 論説編集委員室次長 大塚清一郎氏



- (11) 11月14日例会の出席率 70.33%

会員数 95名（出席免除会員 8名）

出席者 64名（出席免除会員 4名を含む）

（2週間前メーク後 94.51%）

11月28日の例会予定

会員スピーチ「新潟県経済の展望」

日本銀行新潟支店支店長 武田直己 君



キャリアサポート新潟ロータリークラブ出前授業報告

職業奉仕委員長 坂井 賢一

平成29年11月14日(火)、新潟青陵大学短期大学部において職業奉仕委員会による「出前授業」を行い、同短期大学人間総合学科の1年生220名に受講いただきました。講師役を務めたのは、新潟博報堂代表取締役社長山田真会員と新潟三越伊勢丹代表取締役社長浅田龍一会員のお二方です。

最初に坂井職業奉仕委員長よりRCの紹介と出前授業企画の趣旨説明を行った後、講義に入りました。

まず、博報堂の山田社長より「会社の活動の内容と求める人材について」と題し、事業については広告を作るだけにとどまらず地域にもっと貢献していこう！！というプランニング活動も多く行っていること、また求められる人材に関しては、“粒ぞろい”の人材よりも、何か1つでも強みを持っている人材、すなわち“粒ちがい”の人材が求められ、受講者にはこれだけは人に負けないという強みを持って下さいとお話されました。

次いで、新潟三越伊勢丹浅田社長より「自ら学び夢に向かって挑戦し続けるスタイリスト」と題して、現在、同社に勤務されている輝く女性スタイリストの具体的なお話を例に挙げ、社会人は自ら掲げた目標に向かって取り組むことで成長して行くものであり、受講者にはまずは学ぶことに努め、失敗しても目標に向かって挑戦し続けて欲しいとお話されました。

その後、同短大人間総合学科長須永教授、山田社長および浅田社長お三方によるパネルディスカッションを行いました。ディスカッションでは①人材の採用状況、②最近の新入社員の印象、③就活での書類で重視すること、④最終面接のポイント、⑤履歴書の書き方のポイント、⑥コミュニケーション力とは何か？、⑦2020年東京オリンピックプロジェクト、⑧新潟の経済の中で三越が撤退する噂は？、⑨介護福祉士のプロモーション、などが採り上げられ、最後に山田・浅田両社長から受講者に対し「失敗を恐れず、失敗したことに反省して挑戦することが大切である」とのメッセージを送りました。



新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>